

令和 2 年 6 月 6 日現在

機関番号：32670

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2015～2019

課題番号：15H03244

研究課題名(和文)高度成長期の社会イメージ：「社会主義像」と「資本主義像」の文化史的考察

研究課題名(英文) Social Image in the High Growth Period in Japan : A Cultural Historical Study of "Image of Socialism" and "Image of Capitalism"

研究代表者

成田 龍一 (NARITA, Ryuichi)

日本女子大学・人間社会学部・教授

研究者番号：60189214

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 11,800,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、国内での定期的な高度成長文化研究会と、国際的な会議への参加、国際的な会議の開催を軸に活動した。前者は、各年度3回ずつ、総計15回の研究会をおこない、1960年代を核とする高度成長期の日本における文化史的考察をおこなった。また、映画や読み物を中心とする大衆文化も視野に収めた。後者も各年度、実施した。アメリカ合衆国カリフォルニア大学、コロンビア大学、ニューヨーク大学などと提携し、ワークショップや国際会議を共催した。また他の大学、他の団体による国際会議に参加し、パネルを組織した。研究代表者および研究分担者は、本研究のなかで得た成果をもとに、各自それぞれ著作や論文を公表した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、これまで、回顧的・現象的に論じられてきた高度成長期の文化を、方法意識に基づき、文化史研究として検討にたえる成果を出すことを目的としていた。5年間の共同研究により、その目的は、国際シンポジウム、ワークショップ、さらに著作や論文によって成果を多角的に還元することができた。その意義は、第一に、この時期の文化を「日本」に閉じたものにするのではなく世界史のなかに位置付け、アメリカの影響を有機的に組みこみ、東アジアの冷戦体制のなかでの動きとして把握した点である。また、第二には、歴史教育関係者と協力し、固定的な説明に陥りがちであった、学校教育における高度成長期の理解に変化を促した点である。

研究成果の概要(英文)：Members of this research carried out activities centered on (1) regular meetings of high growth culture research groups in Japan, and (2) participation in international conferences and holding of international conferences. The former (1) held a study group of 15 times, three times each year, and examined cultural history in Japan during the high-growth period centered around the 1960s. In addition, this series of study groups also focused on popular culture centered on movies and reading materials. The latter (2) was also carried out each year. The Principal Investigator and Co-Investigators co-sponsored workshops and international conferences in partnership with the University of California, Columbia University, and New York University in the United States. We also participated in international conferences by other universities and other organizations and organized the panel. Based on the results obtained in this research, we published our own works and papers.

研究分野：日本史

キーワード：日本史 近現代史 文化史 高度成長

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

本研究は、「高度成長期の社会イメージ」「社会主義像」と「資本主義像」の文化イメージとして、2015 - 2019年度に営まれた。

高度成長期 すなわち、1950年代半ばから60年代を中心とし、70年代初めまでの現代日本の文化史的考察をしたが、高度成長期に登場した「社会イメージ」が現在に至るまでの社会意識を規定しているという認識から、同時期の「社会イメージ」を軸として設定した。

高度成長期は、これまで経済史研究が歴史研究を主導してきた。「なぜ高度成長が実現したか」ということを軸とし、高度成長のもたらしたものを「光と影」として描く手法が採られてきた。経済史研究は、暮らしや環境の変化、あらたなモノの出現、人間関係の変化を指摘し、回顧的・世相史的歴史像と接点をもち、高度成長の歴史像を提供した。宮本憲一『経済大国』(1982年)、武田晴人『高度成長』(2009年)などの通史によって、いっそうの具体化がなされた。

こうした高度成長期は、あらたな関心から、歴史学研究的考察の対象となり、『年報日本現代史』第14号(2009年)が「高度成長の史的検証」の特集を組み、政治史的考察をおこない、その動きをふまえ、『高度成長の時代』『復興と離陸』『過熱と揺らぎ』『成長と冷戦への問い』3巻(2011年)が、経済史と政治史をベースとした高度成長期の考察をし、現在における歴史学研究のひとつの達成点を提供していた。

すなわち、現時の歴史学研究の高度成長期への主要な関心は経済と政策、地域と運動、また、それにとまなう生活の変容の考察であり、「豊かさ」と公害など負の要素が同時に出現することの意味を追究する姿勢を示していた。

他方、文学研究の領域では、石川巧『高度経済成長期の文学』(2012年)のような大著が刊行され、ここでも高度成長期の考察が始まっていた。しかし、あらたな関心が背後にあるとはいえ、文学研究においては、作家と作品分析が主たる目的となっており、石川の大著もその例外ではない。こうして、高度成長期の文化をめぐって、ともに関心を寄せ始めている歴史学と文学研究であったが、分析の方法にはあらたな工夫がない状況であった。

2. 研究の目的

本研究では高度成長期の文化史を学際的な共同研究によって考察することを目的とした。さらに本研究では、高度成長期が冷戦体制のもとにあることとの相関関係の解明を図った。双方ともに、これまでの高度成長期の研究が指摘こそすれ、具体的な考察を欠いていた点である。換言すれば、高度成長はあらたな国家ヴィジョンとして提起されたが、冷戦体制の中で、そのヴィジョンは資本主義社会のイメージの提供として機能し、社会主義との対抗が意図されていた。このことの解明を高度成長期の文化史研究の重要課題として設定したということである。

本研究の対象とする時期は、文化史的にいえば「対抗文化」の時代であった。そのため、高度成長期の文化として、しばしばカウンターカルチャーがサブカルチャーと重ね合わされ、考察されてきた。しかし、この把握では、資本主義の産み出す文化が中心で、冷戦体制という大きな歴史的枠組みが視野に入っていないため、本研究は、冷戦体制下の文化史を意識的に追究する点に、他の高度成長研究・文化史研究にはない目的を設定した。それが社会主義像と市民主義像の考察である。

あらためて整理すれば、高度成長期は冷戦体制により深く入り込む時期であった。高度成長期は冷戦体制のただ中で、資本主義体制と社会主義体制の相克のもとにあり、おのずから断層をもつ二つの陣営が対抗していた。同時に、高度成長の過程は、市民層をつくりだし、両陣営の「社会イメージ」を相対化し、独自の「社会イメージ」を提供した。このことを踏まえ、高度成長期を、資本主義、社会主義、市民主義という、三つの陣営からの「社会主義像」と「資本主義像」、すなわち「社会イメージ」を考察することを方法とした。

3. 研究の方法

高度成長期の文化史研究は、従来方法的検討がなされないまま、回顧的に取り上げられ、世相史的関心によって議論されてきた。そのため、現象こそ多様に提供されているが、歴史的な検証に耐える考察はこれまでなされていない、といっても過言ではない状況にあった。これまでの高度成長の研究は、日本の「例外性」と「後進性」を前提とし、そのような日本がなぜ異例の高度成長をなし得たか、と問いを立てるのがもっぱらであったこと、また、1950年代との接点(連続性と非連続性)を視野に収めず、現在からの遡及の観点が強く、世界史的視点を欠いていることが挙げられる。さらに、文化史全体への目配りを欠き、日本国内の現象の紹介にとどまっていた。

そのため、本研究では、この問いそのものを再検討するために、同時代の日本で論じられた「社会イメージ」を手がかりとした。どのような自己認識のゆえに、日本の「例外性」「後進性」を述べているかを検討するため、「社会イメージ」を探り出すという方法である。このことは、と関連し、冷戦体制のもとでの高度成長であることの歴史的意味の追求となる。資本主義陣営と社会主義陣営の対抗を、その「社会イメージ」それぞれの「社会主義像」と「資本主義像」とを検討した。

同時に、高度成長はその中で市民層を生みだす。市民層(市民陣営)は、両陣営に目配りをし、それぞれの「社会イメージ」を相対化し、独自の「社会イメージ」を提供してくる。すなわち、本研究では、資本主義陣営・社会主義陣営とともに、市民主義陣営の「社会イメージ」を探ることとなった。冷戦体制は資本主義陣営と社会主義陣営との対抗だが、高度成長期の考察は、その対抗に第三の要因が加わることの歴史的意味の解明となる。

また、 に対し、文学や映画、さらに美術にもふみこむ共同研究とし、総合的な文化史的把握をおこない、この観点から高度成長期の歴史研究に寄与することを方法とした。そして、 の問題点を克服するために、東アジアという場を設定し、中国/台湾、北朝鮮/韓国の同時期の文化を視野に入れることを図った。1950年代半ばから60年代を中心とし、70年代初めまでの日本中国 朝鮮半島の文化史的な動向をあきらかにするための方法を、学際的な協力のもとで図った。

4. 研究成果

本研究の具体的な営みとして、高度成長期の「社会イメージ」を考察するため、(1)研究代表者と分担者が各班に分かれ、個別の作業を行い、そこで得られた成果を、(2)恒常的な研究会(「高度成長文化研究会」)で総合し、認識を深めた。また、(3)海外での国際シンポジウムを開催し、問題点と考察の方法をさらに深く追求した。この実施に当たっては、他の科研と共同研究会を開催する体制(「三科研」体制)を取り、公開のシンポジウム、海外への発信を積極的におこなった。

高度成長文化研究会は各年度3回ずつ、計15回開催した。各班での研究成果をもとに、研究代表者、研究分担者の著作や高度成長期の文化史研究における重要な著作を取り上げ議論した。

たとえば、成田龍一・吉田裕編『記憶と認識の中のアジア太平洋戦争』(分担研究者の丸川哲史、鈴木勝雄が執筆)を取り上げ、高度成長期の戦争像を議論し(2015年度)、研究分担者・竹内栄美子『中野重治と戦後文化運動』により社会主義像を検討した(2016年度)。また、佐藤泉『1950年代、批評の政治学』は、本研究に直接にかかわる著作であった(2018年度)。

歴史教育の重要性を検討したことも成果のひとつで、高度成長文化研究会では、『思想』「特集<世界史>をいかに語るか」をとりあげ合評会をおこない(2017年度、WINCとの共催)、小川幸司(長野県教育委員会)を招き、主著『世界史との対話』全3冊をめぐる討議をし、教育をめぐる議論が、大きな軸となることを確認した(2018年度)。このことをきっかけに、高度成長の把握について、中学校・高等学校の教員の依頼を受け、研究代表者が講演し、歴史教科書の記述の推移について分析・報告をしたほか、シンポジウム「ジェンダー史が拓く歴史教育」(奈良女子大学、2017年度)でも報告した。成果の還元のひとつである。

このほか、著者を招き、柿木伸之『パット剥ぎとられてしまった後の世界へ』の合評(2015年度)、木村朗子『震災後文学論』の合評(2019年度)もおこなった。これらは、各班の研究成果のうえで行われ、活発な議論がなされた。

本研究のいまひとつの成果として、国際シンポジウムの共催がある。2015年度から毎年6月に国際ワークショップ「トランスパシフィック ワークショップ」に研究代表者・研究分担者が参加、報告した。(2015年度 17年度はカリフォルニア大学ロサンゼルス校、2018年度はワシントン州シアトルのワシントン大学、2019年度はカリフォルニア大学リバーサイド校が共催校)。

また、2015年度には、コロンビア大学グローバルセンター北京での国際シンポジウム「東アジアにおける記憶のポリティックス」に研究代表者が参加し、中国、韓国、アメリカ、フランスの研究者と議論した(10月)。また、12月にも、研究分担者が、アメリカでの国際ワークショップに参加、報告した(コロンビア大学で李香蘭をめぐる、また、ニューヨーク大学では女性とジェンダーをめぐる議論)。2016年度・17年度にもニューヨーク大学、コロンビア大学との共同で国際シンポジウムを共催した。とくに16年度には、「家族の戦後」をテーマに映像を用いた議論を行った。さらに2019年度には、アメリカ合衆国コロンビア大学を会場とした国際シンポジウム「日本研究の新たな方向性」に、研究代表者・研究分担者が参加・報告をした。

なお、他の科研や団体の主催による国際シンポジウム、国際学会にも参加したが、主要なものを挙げると、日仏会館・戦後70年記念シンポジウム「戦後思想の光と影」2015年度、東京)、E A J S (ヨーロッパ日本学会)リスボン大会(2017年度)、国際日本文化研究センターが主宰する国際シンポジウム「戦後文化再考」(2017年度、京都)、オランダのライデン大学での国際シンポジウム「複数の68年」(2018年度)、パリでキャロル・グラック教授(コロンビア大学)の主催する会議「維新150年と「68年」「50年」(2018年度)に参加し、報告した。これらの会議には、フランスのみならず、ドイツ、オランダ、イギリスなどからの参加者があった。2019年度には、日仏会館が主催するシンポジウムに、研究代表者が二度にわたり参加し、研究成果をより広く還元した(11月24日、20年1月24日)。

また、研究分担者(渡辺直紀)がモデレーターとなり、韓国・ソウルで国際シンポジウムを共催した。韓国の有力な研究者である林志弦(西江大学)のほか、若手も加わり、本科研の目的のひとつである東アジアの射程での考察が着実に進んでいる(2017年度、2019年度)。

さらに、2019年度には、ロジャー・パルバース(オーストラリア国立大学)を招き、近代文学三学会合同国際学会(会場は共立女子大学)に、「井上ひさし 世界との対話」として、パネ

ル参加を行った。研究代表者がモデレーターとなり、司会を担当した。さらに、11月27日に行われた、パルバースの講演会「井上ひさしと戦後文学」(会場は、日本文芸家協会会議室)を「井上ひさし研究会」と共催した。

なお、岩崎稔(東京外国語大学)を代表者とする科研の研究と協力し、5年間の総まとめとして、2020年3月1日~2日にかけて、ブレット・ド・バリー教授(コーネル大学)を招き、総括的なシンポジウムを計画した。プログラムも出来上がり、報告原稿の翻訳も終わっていたが、おりからのコロナウイルスの蔓延で開催を見送ったことは、まことに残念でならない。

こうして本研究は5か年にわたって、大きな成果を上げた。第一は、「社会イメージ」を追究するという点で、冷戦体制下の文化の具体的対抗の局面を取り扱ったことである。冷戦体制下の二つの陣営の対抗をイデオロギー的な対抗に還元しないために、工夫を行った。また、第三項としての市民陣営の「社会イメージ」を組み込み、高度成長期より複雑な文化的対抗を考察した。分裂を孕む文化が、どのようなかたちで展開されたかを国際的な視野のもとに探った。アメリカでのワークショップ、国際会議はこの視点から開催された。文化を地域において把握する、という文化史の方法に係わる議論ともなり、そのことを念頭においている。

また、東アジアの視点をいれ、中国・台湾、北朝鮮・韓国のあいだでの文化的緊張を探り、実際に韓国でのシンポジウムを開催した。

そして、各自が班での研究活動を踏まえた出版・執筆活動をおこない、成果をさまざまな機会に公表していることも、本科研の活動を活発にしている。戦後思想史の中で手薄であった、高度成長期の思想史をめぐって、歴史学、文学史の領域で成果を着実に公表している。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計91件（うち査読付論文 15件 / うち国際共著 1件 / うちオープンアクセス 5件）

1. 著者名 坪井秀人	4. 巻 83号
2. 論文標題 『月に吠える』は吠え続ける	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 SAKU (萩原朔太郎研究会会報)	6. 最初と最後の頁 54-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 坪井秀人	4. 巻 19巻
2. 論文標題 Herz und Mund und Tat und Terrorismus	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Inter-Asia Cultural Studies	6. 最初と最後の頁 526-535
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 坪井秀人	4. 巻 2019.3.26配信
2. 論文標題 Listening to Poetry: The Call of the Poetry Reading Record	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国立国会図書館歴史的音源ウェブサイト http://rekion.dl.ndl.go.jp/en/ongen_shoukai_12.html?fbclid=IwAR3Sao0MESi_0jh02bC6TtHjf0saUzopVrIHAMRQkINFStSxa8LdYEP10Qk	6. 最初と最後の頁 なし
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 島村輝	4. 巻 巻号なし
2. 論文標題 Experience and hope: the nuclear issue and Asia through the life of the novelist Hayashi Kyoko	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Yasuko Claremont編『CIVIL SOCIETY AND POSTWAR PACIFIC BASIN RECOILATION WOUNDS, SCARES, AND HEALINGS』Routledge	6. 最初と最後の頁 104-115
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 島村輝	4. 巻 第48号
2. 論文標題 我が文学の大師匠(great mentor) 井上ひさしさんからいただいたもの	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 社会文学	6. 最初と最後の頁 100-104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒川みどり	4. 巻 第397号
2. 論文標題 米騒動の時代から100年 社会的デモクラシーの展開と屈折	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 月刊東京	6. 最初と最後の頁 6-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒川みどり	4. 巻 第144号
2. 論文標題 部落問題を普遍的課題に 竹内好を手がかりに	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 季報唯物論研究	6. 最初と最後の頁 38-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒川みどり	4. 巻 第50巻 (通巻54号)
2. 論文標題 「早稲田学」公開講義録 「大山郁夫と早稲田大学」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 早稲田大学大学史紀要	6. 最初と最後の頁 101-131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 成田龍一	4. 巻 第2号
2. 論文標題 「野火」の戦争社会学のために	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 戦争社会学研究	6. 最初と最後の頁 43-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 成田龍一	4. 巻 第48号
2. 論文標題 出発点、あるいは原点への遡行 井上ひさしの「戦後」・覚書	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 社会文学	6. 最初と最後の頁 17-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 成田龍一	4. 巻 第14号
2. 論文標題 戦争と性暴力をめぐること、二つ、三つ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ジェンダー史学	6. 最初と最後の頁 107-118
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 成田龍一	4. 巻 第26集
2. 論文標題 半世紀後に読む「天皇の世紀」 大佛次郎の明治維新像	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 おさらぎ選書	6. 最初と最後の頁 15-49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 成田龍一	4. 巻 717号
2. 論文標題 世界の視点から見る「戦後日本史」の考え方・学び方	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 社会科教育	6. 最初と最後の頁 54-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 成田龍一	4. 巻 556号
2. 論文標題 逆井聰人「『<焼跡>の戦後空間論』、あるいは「戦後」の読み解き方について」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 UP	6. 最初と最後の頁 20-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 成田龍一	4. 巻 2019年3月号
2. 論文標題 アイデンティティの確認から脱却する新たな通史	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 青春と読書	6. 最初と最後の頁 40-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 成田龍一	4. 巻 679号
2. 論文標題 「記憶の場」としての明治維新	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本史研究	6. 最初と最後の頁 186-193
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高榮蘭	4. 巻 827号
2. 論文標題 歴史のひろば 「幽霊」の位相をかき乱すためにー和田春樹『「平和国家」の誕生』と権赫泰『平和なき「平和主義」』を手がかりにー	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 歴史評論	6. 最初と最後の頁 68 - 77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 丸川哲史	4. 巻 77
2. 論文標題 中国革命とロシア十月革命	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 季刊 ピープルズ・プラン	6. 最初と最後の頁 66-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 寇淑〇(女へんに亭)・島村輝	4. 巻 2017年3月
2. 論文標題 日本“鄭成功文学”的形成、流変及其研究態勢	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東疆学刊	6. 最初と最後の頁 38-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 鈴木勝雄	4. 巻 9
2. 論文標題 精神生理学研究所」というオルタナティブ・スペース	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 情報科学芸術大学院大学 紀要	6. 最初と最後の頁 213-224
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 島村輝	4. 巻 3
2. 論文標題 ここの史代「夕風の街 桜の国」と現代日本におけるにおける「被爆体験」の表象化	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東アジア文化研究	6. 最初と最後の頁 21-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 島村輝	4. 巻 16
2. 論文標題 再びルイへ。」から「祭りの場」へ/「祭りの場」から「再びルイへ」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 原爆文学研究	6. 最初と最後の頁 77-88
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 島村輝	4. 巻 2018年1月22日
2. 論文標題 「女性」の眼差しと「大戦争」の行方 太平洋戦争開戦時の太宰治の作品から	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 文芸雑誌『若草』 私たちは文芸を愛好している	6. 最初と最後の頁 327-347
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 島村輝	4. 巻 第39巻第5号
2. 論文標題 被爆者として、文学者として、人として 林京子さんを偲ぶ	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 すばる	6. 最初と最後の頁 118-119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹内栄美子	4. 巻 3301
2. 論文標題 資料紹介日露戦争を伝える『牟婁新報』号外	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 図書新聞	6. 最初と最後の頁 7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹内栄美子	4. 巻 第82巻第9号
2. 論文標題 黒田喜夫と『詩炉』	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本古書通信	6. 最初と最後の頁 2-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高榮蘭	4. 巻 1243
2. 論文標題 1930年代、いま・この根っこを探して 出版帝国のプロパガンダ 「クールジャパンへの進化」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 週刊 京郷	6. 最初と最後の頁 64-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高榮蘭	4. 巻 20
2. 論文標題 不良分子」の指紋と「朝鮮人」の位置づけから 高野麻子『指紋と近代』を手がかりに	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 クアドランテ	6. 最初と最後の頁 17-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坪井秀人	4. 巻 第60巻5号
2. 論文標題 二十世紀日本語詩を思い出す(23)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 現代詩手帖	6. 最初と最後の頁 158-167
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坪井秀人	4. 巻 第60巻6号
2. 論文標題 二十世紀日本語詩を思い出す(24)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 現代詩手帖	6. 最初と最後の頁 184-194
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坪井秀人	4. 巻 第60巻7号
2. 論文標題 二十世紀日本語詩を思い出す(25)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 現代詩手帖	6. 最初と最後の頁 148-158
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坪井秀人	4. 巻 なし
2. 論文標題 大手拓次とは誰か 神話化されてきた詩人像	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 詩人大手拓次 孤独の箱のなかから (大手拓次生誕130年記念展図録)	6. 最初と最後の頁 32-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坪井秀人	4. 巻 第75集
2. 論文標題 テロルの未決算 大江健三郎「政治少年死す」ほか	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 昭和文学研究	6. 最初と最後の頁 144-146
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坪井秀人	4. 巻 第2巻
2. 論文標題 旧満洲留用者の戦後 (韓国語、金普慶訳)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 韓国日本学会叢書	6. 最初と最後の頁 145-170
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坪井秀人	4. 巻 なし
2. 論文標題 詩を聞くこと 朗読詩音源のたのしみ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国立国会図書館ウェブサイト「音源紹介」	6. 最初と最後の頁 ウェブページ
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 成田龍一	4. 巻 第19号
2. 論文標題 松本清張『昭和史発掘』の位相	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 松本清張研究	6. 最初と最後の頁 41-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 成田龍一	4. 巻 2017年6月号
2. 論文標題 金哲『植民地の腹話術師たち』（平凡社2017年）、あるいは植民地経験の考察について	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 UP	6. 最初と最後の頁 34-41
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 成田龍一	4. 巻 2018年2月号
2. 論文標題 内田隆三『乱歩と正史』（講談社、2017年）、あるいは探偵小説というジャンルについて	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 UP	6. 最初と最後の頁 30-37
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 成田龍一・吉見俊哉対談	4. 巻 3193号
2. 論文標題 歴史のドラマトルギー	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 週刊読書人	6. 最初と最後の頁 1-2面
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 成田龍一岩崎稔・橋爪大輝 鼎談	4. 巻 3217号
2. 論文標題 『メタヒストリー』が現在に問いかけるもの	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 週刊読書人	6. 最初と最後の頁 1-3面
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 成田龍一・長谷川貴彦、小川幸司	4. 巻 1127号
2. 論文標題 鼎談 「世界史」をどう語るか	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 思想	6. 最初と最後の頁 5-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 成田龍一・大串潤児、三沢亜紀 鼎談	4. 巻 2018年3月26日-30日
2. 論文標題 維新の残響 4回	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 信濃毎日新聞	6. 最初と最後の頁 すべて8面
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺直紀	4. 巻 第48巻第1号
2. 論文標題 太平洋戦争期の日朝合作映画について 今井正 / 崔寅奎の『望楼の決死隊』(1943)『愛と誓ひ』(1945)を中心に	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 武蔵大学人文学会雑誌	6. 最初と最後の頁 141-167
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 渡辺直紀	4. 巻 第48巻第2号
2. 論文標題 李香蘭映画の植民地朝鮮・台湾における受容	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 武蔵大学人文学会雑誌	6. 最初と最後の頁 79-101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 島村輝	4. 巻 2015年第2期第3巻 総第9期
2. 論文標題 李別金斯基著《一周間》の接受研究 以英、日、中の国際伝播為視覚	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 東北亜外語研究	6. 最初と最後の頁 3-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 島村輝	4. 巻 26
2. 論文標題 「大戦争」と「女性」の眼差し 太平洋戦争開戦時の太宰治の短篇から	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日本学研究 (北京日本学中心編)	6. 最初と最後の頁 46-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 島村輝	4. 巻 第74集
2. 論文標題 転形期 の混沌(カオス)から 小林多喜二と小樽の若き マルクス主義 者たち	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 昭和文学研究	6. 最初と最後の頁 15-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 丸川哲史	4. 巻 881
2. 論文標題 東アジアにおける“2015年安保”の意味	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 世界(別冊)	6. 最初と最後の頁 29-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 丸川哲史	4. 巻 第5巻第5号
2. 論文標題 トランプ政権の登場と中国の今後 「一帯一路構想」の潜在性	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 情況	6. 最初と最後の頁 83-90
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹内栄美子	4. 巻 第74集
2. 論文標題 プロレタリア文学から戦後文化運動へ-中野重治・本多秋五・花田清輝	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 昭和文学研究	6. 最初と最後の頁 89-101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹内栄美子	4. 巻 第272号
2. 論文標題 「文藝尖端」のひとびと	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日本近代文学館	6. 最初と最後の頁 4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹内栄美子	4. 巻 第1044号
2. 論文標題 『震災ロマンス』が語る「東京」(上)	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日本古書通信	6. 最初と最後の頁 7-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹内栄美子	4. 巻 第1045号
2. 論文標題 『震災ロマンス』が語る「東京」(下)	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日本古書通信	6. 最初と最後の頁 8-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹内栄美子	4. 巻 第1046号
2. 論文標題 関東大震災後の新しい芸術思想 小原国芳訳『カンディンスキーの芸術論』	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日本古書通信	6. 最初と最後の頁 8-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹内栄美子	4. 巻 第1047号
2. 論文標題 関東大震災後の新しい芸術思想(その二)村山知義『カンディンスキー』	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日本古書通信	6. 最初と最後の頁 8-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒川みどり	4. 巻 第731号
2. 論文標題 『入門被差別部落の歴史』刊行記念講演会から 被差別部落の通史に向き合って 「私にとっての通史」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 部落解放	6. 最初と最後の頁 91-97
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒川みどり	4. 巻 vol.53 No.687
2. 論文標題 人権問題の理性的・論理的理解を	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 月刊社会科教育	6. 最初と最後の頁 60-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒川みどり	4. 巻 第801号
2. 論文標題 部落史から考える日本の近代社会	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 歴史評論	6. 最初と最後の頁 32-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒川みどり	4. 巻 第185号
2. 論文標題 近代社会における被差別部落	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 ひょうごの人権教育	6. 最初と最後の頁 1-2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒川みどり	4. 巻 第1115号
2. 論文標題 丸山眞男における「開かれた社会」 竹内好との対話をとおして	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 思想	6. 最初と最後の頁 67-92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坪井秀人	4. 巻 59-4
2. 論文標題 二十世紀日本語詩を思い出す12	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 現代詩手帖	6. 最初と最後の頁 132-138
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坪井秀人	4. 巻 59-5
2. 論文標題 二十世紀日本語詩を思い出す 13	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 現代詩手帖	6. 最初と最後の頁 148-156
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坪井秀人	4. 巻 59-6
2. 論文標題 二十世紀日本語詩を思い出す 14	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 現代詩手帖	6. 最初と最後の頁 150-157
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坪井秀人	4. 巻 59-7
2. 論文標題 二十世紀日本語詩を思い出す 15	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 現代詩手帖	6. 最初と最後の頁 182-189
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坪井秀人	4. 巻 59-8
2. 論文標題 二十世紀日本語詩を思い出す 16	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 現代詩手帖	6. 最初と最後の頁 194-203
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坪井秀人	4. 巻 59-9
2. 論文標題 二十世紀日本語詩を思い出す 17	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 現代詩手帖	6. 最初と最後の頁 150-157
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坪井秀人	4. 巻 59-10
2. 論文標題 二十世紀日本語詩を思い出す 18	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 現代詩手帖	6. 最初と最後の頁 130-139
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坪井秀人	4. 巻 59-11
2. 論文標題 二十世紀日本語詩を思い出す 19	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 現代詩手帖	6. 最初と最後の頁 160-168
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坪井秀人	4. 巻 60-1
2. 論文標題 二十世紀日本語詩を思い出す 20	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 現代詩手帖	6. 最初と最後の頁 104-112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坪井秀人	4. 巻 60-2
2. 論文標題 二十世紀日本語詩を思い出す 21	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 現代詩手帖	6. 最初と最後の頁 138-147
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坪井秀人	4. 巻 60-3
2. 論文標題 二十世紀日本語詩を思い出す 22	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 現代詩手帖	6. 最初と最後の頁 136-146
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 成田龍一	4. 巻 954
2. 論文標題 認識論の歴史学へ 安丸良夫の歴史学	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 歴史学研究	6. 最初と最後の頁 27-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 成田龍一	4. 巻 第532号
2. 論文標題 梅森直之『初期社会主義の地形学』、あるいは、冷戦体制崩壊後に「初期社会主義」を論ずること	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 UP	6. 最初と最後の頁 42-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高榮蘭	4. 巻 65 (11)
2. 論文標題 帝国日本の空間フレームと図書館 雑誌『朝鮮之図書館』	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日本文学	6. 最初と最後の頁 28 - 39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺直紀	4. 巻 第24輯
2. 論文標題 李香蘭における映画と政治	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 日本研究 (高麗大学校グローバル日本研究院)	6. 最初と最後の頁 137-155
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 高榮蘭	4. 巻 14号
2. 論文標題 「原爆」をめぐる想像力の枠組み ベトナム戦争と「アジア」言説を手がかりに	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 原爆文学研究	6. 最初と最後の頁 264-282
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒川みどり	4. 巻 第825号
2. 論文標題 「生活のなかのことば」から読み解く 北河賢三著『戦後史のなかの生活記録運動 東北農村の青年・女性たち』	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 教育	6. 最初と最後の頁 90-91
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 成田龍一	4. 巻 第43巻第14号
2. 論文標題 2015年7月15日のあとに『1960年5月19日』を読む	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 現代思想	6. 最初と最後の頁 138-143
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 成田龍一	4. 巻 第14号
2. 論文標題 「証言」の力学 「原爆文学」の1970年代	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 原爆文学研究	6. 最初と最後の頁 283-296
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 成田龍一	4. 巻 第43巻第19号
2. 論文標題 見田宗介をめぐってのこと、二つ、三つ	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 現代思想	6. 最初と最後の頁 210-223
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 成田龍一	4. 巻 第43号
2. 論文標題 「現代の文法」を探るために 2015年の歴史的位相	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 社会文学	6. 最初と最後の頁 44-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 成田龍一	4. 巻 第29号
2. 論文標題 次世代に「知」を伝えるということ-歴史の「知」と歴史学の学知のあいだ	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 自由民権	6. 最初と最後の頁 4-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計116件 (うち招待講演 51件 / うち国際学会 72件)

1. 発表者名 丸川哲史
2. 発表標題 魯迅における「声」と「記憶」について
3. 学会等名 韓国中文学会、東亜魯迅国際学術シンポジウム (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 坪井秀人
2. 発表標題 Terayama Shuji on the Street
3. 学会等名 Japan-France-Global Workshop (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 坪井秀人
2. 発表標題 From International to Global?
3. 学会等名 JSA-ASEAN2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 坪井秀人
2. 発表標題 グローバル・ヒストリーと世界文学 日本研究の将来像
3. 学会等名 高麗大学校学術講演会 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 坪井秀人
2. 発表標題 日本語文学の領域
3. 学会等名 シンポジウム「メディア時代の日本研究」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 坪井秀人
2. 発表標題 Throw Away Your Books, Rally in the Streets: Terayama Shuji and his Thought of Street
3. 学会等名 ワークショップWords and Violence (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 坪井秀人
2. 発表標題 Surviving on the foreign soil: the "postwar" of Japanese laborers detained in Manchuria
3. 学会等名 国立交通大学Public Lecture (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 坪井秀人
2. 発表標題 Modern Japanese Women ' s Poetry
3. 学会等名 ウィーン大学日本学講座講演会 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 坪井秀人
2. 発表標題 Japanese " Postwar " in Manchuria
3. 学会等名 イェール大学 (CEAS) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 坪井秀人
2. 発表標題 和歌を翻訳する、和歌を歌う
3. 学会等名 立教大学 文学部文学科日本文学専修公開セミナー (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 島村輝
2. 発表標題 ジャーナリズムの「捏造」とデモクラシーの「逼塞」 転向点・一九三三年の報道空間
3. 学会等名 日本社会文学会2018年度春季大会 特集「ジャーナリズムとデモクラシー」シンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 島村輝
2. 発表標題 「道徳教材」にされた或る戦後児童文学
3. 学会等名 日本文学協会第38回研究発表大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 島村輝
2. 発表標題 「小野京」としての林京子 『文藝首都』発表作品の位相
3. 学会等名 『文藝首都』国際会議（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 島村輝
2. 発表標題 騎士団長の殺し方 村上春樹による「メタ小説」の方法論
3. 学会等名 中国日本文学研究会第16回国際学術検討会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 島村輝
2. 発表標題 明治文学史再考
3. 学会等名 日本文学学術交流会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 島村輝
2. 発表標題 一〇〇年前に蒔かれた種 小牧近江の留学体験と日本プロレタリア文学運動の源流
3. 学会等名 フランス社会科学高等研究院（EHESS）第30回SFEJ国際会議（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 黒川みどり
2. 発表標題 戦後思想史の構想
3. 学会等名 東北アジア歴史財団 第2回歴史和解のための日韓フォーラム（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 成田龍一
2. 発表標題 井上ひさしのPLAY
3. 学会等名 TPワークショップ（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 成田龍一
2. 発表標題 音声の「近代」をめぐる二、三のこと
3. 学会等名 神奈川大学常民文化研究所（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 成田龍一
2. 発表標題 『言葉と戦車』をめぐる加藤周一の1968年
3. 学会等名 Words and Violence: Global History of the 1968 Protests in Japan and its Contemporary Meaning（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 成田龍一
2. 発表標題 「明治150年」と「68年」50年
3. 学会等名 France/Japan/Global Workshop（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 成田龍一
2. 発表標題 歴史と歴史小説のあいだ
3. 学会等名 流山市立博物館友の会 総会講演会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 成田龍一
2. 発表標題 主婦論争を知っていますか 高度経済成長のなかの女性と家族
3. 学会等名 神奈川歴史教育研究会 日本史サマーセミナー2018 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 成田龍一
2. 発表標題 近現代日本史を学ぶということ
3. 学会等名 学び合う教材・授業づくり研究会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 成田龍一
2. 発表標題 「戦後」のヒストリオグラフィー
3. 学会等名 広島平和研究所 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 成田龍一
2. 発表標題 他者への想像力失うまい
3. 学会等名 中国新聞2019年1月1日
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高榮蘭
2. 発表標題 1989, Okinawa, and Daily Life under the Japanese Flag : The Death of Emperor and the Murakami Haruki Phenomenon
3. 学会等名 Research Seminar Series, Sponsored by Center for Asia-Pacific Initiatives (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高榮蘭
2. 発表標題 What is Chosenjin(Koreans)? : 1968・Oshima Nagisa・Hinomaru (the Japanese Flag)
3. 学会等名 Workshop: Words and Violence: Global History of the 1968 Protests in Japan and its Contemporary Meaning (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 島村輝
2. 発表標題 雑誌『わかもの』と一九六〇年前後の日本共産党系青年運動 「民主主義」イメージをめぐって
3. 学会等名 JSAA2017 (Woolongong University) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 島村輝
2. 発表標題 山村を揺るがした「ダンス至上主義」 「静かなる山々」と戦後日本共産党の文化運動
3. 学会等名 日文研共同研究会「戦後日本文化再考」第14回 パネル「運動」と「文化」(京都日本文化研究センター)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Teru Shimamura
2. 発表標題 Re-evaluating the "I-novel" Reading Mode in Shiga Naoya's "Kojinbutsu no fufu," "Wakai," and "Takibi"
3. 学会等名 15th EAJS International Conference in Lisbon (The Universidade NOVA) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 島村輝
2. 発表標題 「再びルイへ。」から「祭りの場」へ / 「祭りの場」から「再びルイへ。」
3. 学会等名 第53回原爆文学研究会 「原爆文学」再読5 林京子「再びルイへ。」(広島大学未来創生センター)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 島村輝
2. 発表標題 パネル：文学のなかの東アジア記憶レジーム 指名討論者
3. 学会等名 シンポジウム「グローバルな記憶空間としての東アジア」(西江大学・ソウル)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 島村輝
2. 発表標題 マリアのいない聖家族 原田直次郎「風景」と鷗外の独逸三部作
3. 学会等名 開館5周年記念事業 シンポジウム「深読み!? 森鷗外 鷗外とピグマリオン・コンプレックス」(文京区立森鷗外記念館)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 竹内栄美子
2. 発表標題 戦地からの絵だより 高見順から妻・秋子へ
3. 学会等名 日本近代文学館講座「資料は語る」(日本近代文学館・東京都渋谷区駒場)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 竹内栄美子
2. 発表標題 中野重治と戦後文化運動
3. 学会等名 NPO法人京都自由大学(京都社会文化センター・京都府京都市)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 竹内栄美子
2. 発表標題 堀田善衛「時間」「夜の森」とアジア・アフリカ作家会議
3. 学会等名 国際セミナー「グローバルな記憶空間としての東アジア」(西江大学校・韓国ソウル市)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 竹内栄美子
2. 発表標題 戦後文学を再考する 中野重治、花田清輝、堀田善衛を視座として
3. 学会等名 連続学術講座「重審戦後日本文学」(清華大学人文与社会科学高等研究所・中国北京市)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高榮蘭
2. 発表標題 「ジェンダー」と「朝鮮/日本」の危うい関係 『戦後の誕生』・『平和なき「平和主義」』を手がかりにー
3. 学会等名 国際シンポジウム「再び戦後を問う」、科研費基盤研究C「冷戦アジアの「革命」とベトナム戦争における「日本語」の役割に関する研究」（日本大学文理学部・東京都）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ko Youngran
2. 発表標題 The Korean Peninsula and the Nuclear Threat: through the medium of literature
3. 学会等名 “ Third Annual UCLA Trans-Pacific Symposium: "Kizu・傷/Wounds" , Cosponsored by TERASAKI CENTER FOR JAPANESE STUDIES , Center for Korea Studies (UCLA,USA) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高榮蘭
2. 発表標題 日米地位協定 第9条「軍隊構成員などの出入国」をめぐる
3. 学会等名 シンポジウム「日米地位協定から見える沖縄・日本・世界」、「戦後沖縄・歴史認識アピール」のつどい2（早稲田大学・東京都）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高榮蘭
2. 発表標題 日本は誰の見方でもない 非武装中立「日本」と「朝鮮戦争」物語
3. 学会等名 グローバルな記憶空間としての東アジア 第1回国際セミナー、韓国西江CGSCトランスナショナル人文学研究所（西江大学・韓国ソウル市）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高榮蘭
2. 発表標題 絶叫と沈黙のあいだ 「文学・記憶・女」の移動を軸に」、シンポジウム「ディアスポラ文学と想像力
3. 学会等名 第5回 東アジアと同時代日本語文学フォーラム 2017 ソウル大会、東アジアと同時代日本語文学フォーラム（東国大学・韓国ソウル市）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高榮蘭
2. 発表標題 出入国をめぐる文化政治と文学 アジア通貨危機と李恢成の韓国籍取得を手がかりに
3. 学会等名 日本大学・国立政治大学共同ワークショップ「「ジャンルの記憶」とその転換をめぐる研究 東アジアの言語・文化・表現史を中心に」（国立台湾政治大学・台湾台北）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高榮蘭
2. 発表標題 他者をめぐる翻訳 - 政治の力学 冷戦アジアにおける日本語空間の再編を手がかりに
3. 学会等名 国際シンポジウム「東アジアの文学・文化研究の国際化とナショナリズムの陥穽」（早稲田大学・東京都）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 坪井秀人
2. 発表標題 The Dead recolonizes the Living: Rethinking the Discourses on the Dead after "Fukushima" in Japan
3. 学会等名 The Legacies of Pax Americana and the Remnants of American Colonial-Empire(新竹・台湾) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 坪井秀人
2. 発表標題 From Outside of the Fence: Opening the Wound of Japanese American Underground Operatives
3. 学会等名 4th Trans-pacific Workshop (LosAngeles) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 坪井秀人
2. 発表標題 Discourses on the Dead in Post-Fukushima Japan
3. 学会等名 JSAA (The Japanese Studies Association of Australia) 2017 Conference (ウーロンゴン・オーストラリア) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 坪井秀人
2. 発表標題 夏目漱石と観相学
3. 学会等名 チュラーロンコーン大学記念講演会 (バンコク) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 坪井秀人
2. 発表標題 Herz und Mund und Tat und Terrorismus
3. 学会等名 European Association for Japanese Studies (リスボン) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 坪井秀人
2. 発表標題 A border-crossing poet: Ito Hiromi from 1990s to the present
3. 学会等名 International Symposium on Poetry and Translation (キャンベラ) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 坪井秀人
2. 発表標題 Living with the Living: Discourse on the Dead in Post- Fukushima Japan
3. 学会等名 Japanese Studies After 3.11 (日文研、ライブツイヒ大学・ライブツイヒ) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 坪井秀人
2. 発表標題 Consuming body and consumed body: eating disorders in contemporary Japanese Literature and Manga
3. 学会等名 Le corps dans les littératures d'Asie aux XXe et XXIe siècles : discours, représentation et intermedialité (Paris) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 黒川みどり
2. 発表標題 重厚厚生会と戦後の同和行政・解放運動
3. 学会等名 第23回全国部落史研究大会 近現代史部会 (名古屋市東別院・愛知県) (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 黒川みどり
2. 発表標題 兼子歩 / 貴堂嘉之編 『「ヘイト」時代のアメリカ史 人種・民族・国籍を考える』 (彩流社、2017年) コメント
3. 学会等名 日本アメリカ史学会第40回例会 (明治学院大学3号館・東京都) (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Naoki Watanabe
2. 発表標題 Korean Soldier Internee in Siberia and the (Un)Redressability
3. 学会等名 Fourth Annual UCLA Trans-Pacific Workshop (UCLA・USA) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 成田龍一
2. 発表標題 『野火』の戦争社会学
3. 学会等名 戦争社会学会 (琉球大学) (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 成田龍一
2. 発表標題 傷は癒えたか
3. 学会等名 4th Trans-pacific Workshop (カリフォルニア大学ロスアンゼルス校) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 成田龍一
2. 発表標題 21世紀に、大江健三郎「政治少年死す」を読む
3. 学会等名 European Association for Japanese Studies (リスボン) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 成田龍一
2. 発表標題 総括に向けて
3. 学会等名 国際シンポジウム「グローバルな記憶空間としてのアジア」(西江大学校・韓国ソウル) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 成田龍一
2. 発表標題 日本の日本、アメリカの日本
3. 学会等名 「V. コシユマン教授退官記念 秩序と反秩序」(コーネル大学・アメリカ合衆国) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 成田龍一
2. 発表標題 出発点、あるいは原点への遡行 井上ひさしの「戦後」
3. 学会等名 日本社会文学学会大会(米沢女子短期大学)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 成田龍一
2. 発表標題 戦後的思考 / 戦後後的思考のその先へ
3. 学会等名 現代社会における戦争像と戦後像」(文教大学)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 成田龍一
2. 発表標題 戦後史の怖さとおもしろさ
3. 学会等名 横浜市中学校社会科を語る会(ワシントンホテル・横浜桜木町)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 成田龍一
2. 発表標題 戦争・紛争と性暴力
3. 学会等名 シンポジウム「ジェンダー史が拓く歴史教育」(奈良女子大学)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 成田龍一
2. 発表標題 21世紀に、自由民権運動を考える
3. 学会等名 「東北の近代と自由民権を越えて」(東北大学)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 成田龍一
2. 発表標題 近代のなかの「戦後」 / 「戦後」のなかの明治
3. 学会等名 国際シンポジウム「戦後日本文化再考」(国際日本文化研究センター)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 渡辺直紀
2. 発表標題 植民地朝鮮の日本語文学 雑誌『新時代』所収の李光洙の文章を中心に
3. 学会等名 第4回世界文学・語圏横断ネットワーク研究集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Naoki Watanabe
2. 発表標題 The Colonial Reception of Ri Koran's Films in Korea and Taiwan
3. 学会等名 Transnational Humanities in Korean Studies, ANU Korea Institute & ANU College of Asia and the Pacific (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Naoki Watanabe
2. 発表標題 Harbin Representation in Man'ei Film: on Ri Koran's Watashi no Uguisu (My Nightingale, 1944)
3. 学会等名 Third Annual UCLA Trans-Pacific Workshop: The Politics of Life and Death (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 渡辺直紀
2. 発表標題 『北の詩人』再読－林和と朝鮮文学
3. 学会等名 国際日本文化研究センター共同研究会「戦後日本文化再考」第9回
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Naoki Watanabe
2. 発表標題 The Comparison of 'Postwar' between Japan and Korea in late 20th century: on the Aspects of Redress
3. 学会等名 The Many Worlds of Yamaguchi Yoshiko: An International Workshop at Columbia University (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Naoki Watanabe
2. 発表標題 The Transculturation of Pearl Buck 's The Good Earth in 1930 ' s East Asia
3. 学会等名 AAS (Association for Asian Studies) 68th Annual Conference (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 島村輝
2. 発表標題 太平洋戦争開戦という「時局」 「十二月八日」「律子と貞子」を中心に
3. 学会等名 国際シンポジウム 「雑誌『若草』 1920年代から1940年代までの文学と文化 」(国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 島村輝
2. 発表標題 「故郷」は何処にある？ 3・11東日本大震災・東京電力福島第一原発事故から5年を経て
3. 学会等名 CASS-JSPS共同シンポジウム「文学・思想・日中関係」（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 島村輝
2. 発表標題 綿貫六助の「性的指向(セクシャリティー)」と文学
3. 学会等名 日本文学協会第71回大会ラウンドテーブル発表 変態 からみる近代日本精神史」
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 竹内栄美子
2. 発表標題 秋山清と中野重治
3. 学会等名 秋山清研究会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 竹内栄美子
2. 発表標題 竹内栄美子『中野重治と戦後文化運動』合評会リプライ
3. 学会等名 三科研研究会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 竹内栄美子
2. 発表標題 小正路淑泰編『堺利彦 初期社会主義の思想圈』合評会コメント
3. 学会等名 初期社会主義研究会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 竹内栄美子
2. 発表標題 中野重治の文学
3. 学会等名 アジア太平洋資料センター 戦後史自主講座（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 竹内栄美子
2. 発表標題 ふるさと杵築を思って-日本の文学・大分の文学
3. 学会等名 杵築市政経懇談会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 坪井秀人
2. 発表標題 Tracing the Demobilized: The Requiem Novels of Yagi Yoshinori
3. 学会等名 アジア学会（AAS）（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 坪井秀人
2. 発表標題 夏目漱石文学と観相学
3. 学会等名 漱石没後百年記念国際シンポジウム（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 坪井秀人
2. 発表標題 Surviving in the soil: the "postwar" of Japanese laborers detained in Manchuria and one of their magazine "Tsuruoka"
3. 学会等名 Trans-Pacific Workshop（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 坪井秀人
2. 発表標題 象徴主義再考
3. 学会等名 高麗大学校講演会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 坪井秀人
2. 発表標題 旧満洲留用者たちの戦後雑誌『ツルオカ』とその周辺
3. 学会等名 韓国日本学会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 坪井秀人
2. 発表標題 戦後空間のなかの 変態
3. 学会等名 日本文学協会ラウンドテーブル
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 成田龍一
2. 発表標題 金浩報告に対する討論
3. 学会等名 第16回日韓・韓日歴史家会議（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 成田龍一
2. 発表標題 記憶の場の「戦後」
3. 学会等名 東アジアと日本語 同時代フォーラム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 成田龍一
2. 発表標題 「クローン」のポリティックス」 カズオ・イシグロ『わたしを離さないで』（Never Let Me Go）をめぐって
3. 学会等名 TPW(UCLA 環太平洋ワークショップ)（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ko Young-ran
2. 発表標題 "Korean Tenko and the Japan-Okinawa Divide: Between Yoshimoto Takaaki's "On Tenko" and Kim Talsu's "The Trial of Pak Tai"
3. 学会等名 The Movement of Individuals and the Politics of Cultural Memory Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ko Young-ran
2. 発表標題 Border Transgressions within the "Hinomaru" : 1989, The Desire for the "End", and Contemporary Japanese Literature
3. 学会等名 UCLA Trans-Pacific Symposium: The Politics of Life and Death (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 高榮蘭
2. 発表標題 帝国日本の戦争と書記言語をめぐる攻防
3. 学会等名 UCR The Summer Study Abroad Program at Josai (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 高榮蘭
2. 発表標題 戦後レジームと女性たちの歴史戦争
3. 学会等名 韓国延世大学国学研究院HK事業団、第37回社会人文学ワークショップ「嫌悪と民主主義」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 高榮蘭
2. 発表標題 検閲帝国日本の非合法的な公論場 1930年前後、「抵抗」言説の商品化を中心に
3. 学会等名 第9回奎章閣韓国学国際シンポジウム「権力と反対 韓国学を通してみる過去と現在の朝鮮」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 高榮蘭
2. 発表標題 「漢字」「文化」を攪乱せよ 多和田葉子『飛魂』から
3. 学会等名 シンポジウム「多和田葉子と言葉のざわめき」
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 高榮蘭
2. 発表標題 言語圏の重なりと移動 『指紋と近代』から
3. 学会等名 シンポジウム「近現代東アジアの人流統治を問い直す～帝国の力が重ね書きされた場所で～」(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ko Young-ran
2. 発表標題 Japan is Nobody's Ally: Memories of Empire and the Story of 'The Korean War'
3. 学会等名 Empire and Others Symposium (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Naoki Watanabe
2. 発表標題 Gender Politics in Li Xianglan 's Film
3. 学会等名 Transnational Cultural Interactions between Korea and Japan: From the Pre-Modern to the Colonial Period (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Naoki Watanabe
2. 発表標題 Imperialism and Ethnic Nationalism in Colonial Korea: Yi Kwangsu 's "Brothers in Arms (1941)
3. 学会等名 UCLA Trans-Pacific Symposium (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Naoki Watanabe
2. 発表標題 Audience of Li Xianglan 's Film in Colonial Taiwan
3. 学会等名 Cultural Mobility: Transformation of East Asian Humanity Studies and Diversity of New Intellectual Trend (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 渡辺直紀
2. 発表標題 イボリット・テーヌと植民地文学 朝鮮・台湾での受容比較
3. 学会等名 第8回林和文学シンポジウム「林和と植民地朝鮮のプロレタリア文学」
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Naoki Watanabe
2. 発表標題 The Colonial Reception of Ri Koran's Films in Korea and Taiwan
3. 学会等名 The Many Worlds of Yamaguchi Yoshiko: An International Workshop at Columbia University (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Naoki Watanabe
2. 発表標題 The Colonial Reception of Ri Koran's Films in Korea and Taiwan
3. 学会等名 Empire in Retrospect: New Directions in Korean and Japanese Cultural Studies (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ko Young-ran
2. 発表標題 Hiroshima, " Kwangju, " and the Appropriation of Memory : The Anti-Nuclear Movement and Support for Korean Democratization in the 1980s
3. 学会等名 UCLA Trans-Pacific Symposium (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 高榮蘭
2. 発表標題 革命と転向 吉本隆明「転向論」と林鐘國「親日文学論」の間から
3. 学会等名 国際シンポジウム「日本の戦後70年を問うー戦後思想の光と影」日仏会館フランス事務所主催(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 高榮蘭
2. 発表標題 「原爆」をめぐる想像力の枠組み 朝鮮戦争とベトナム戦争を手がかりに
3. 学会等名 第48回原爆文学研究会「戦後70周年連続ワークショップ」原爆文学研究会主催
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 高榮蘭
2. 発表標題 「社会主義」と「転向」をめぐる文化政治 一九三〇年前後の「社会主義」書物をめぐる競争/狂騒をてがかりに
3. 学会等名 2015年度日本近代文学会秋季大会, 特集「移動と空間をめぐる想像力」
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Ko Young-ran
2. 発表標題 Korean Tenko and the Japan-Okinawa Divide: Between Yoshimoto Takaaki's "On Tenko" and Kim Talsu's "The Trial of Pak Tal"
3. 学会等名 "The Work of "postwar" Workshop" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 高榮蘭
2. 発表標題 「平民」行商たちの情報戦 革命時代における日本語メディアの抗争
3. 学会等名 『検閲の帝国』刊行記念講演会, 韓国成均館大学東アジア学院・ブルン歴史社共催(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 黒川みどり
2. 発表標題 歴史的考察 報告「近代社会における部落問題 歴史をたどりながら」
3. 学会等名 国際基督教大学「21世紀における部落問題 表象、現実、機会を再考する」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 成田龍一
2. 発表標題 戦後日本における横領の構造
3. 学会等名 カリフォルニア大学ロサンゼルス校「第二回 トランスパシフィック・ワークショップ」(招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 成田龍一
2. 発表標題 「現代の文法」を探るために
3. 学会等名 日本社会文学会春季大会「貧困×ジェンダー×戦争」(招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 成田龍一
2. 発表標題 「戦後70年」のなかの日本思想
3. 学会等名 日仏会館・戦後70年記念シンポジウム「戦後思想の光と影」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 成田龍一
2. 発表標題 「証言」の力学
3. 学会等名 原爆文学研究会「広島から問う、「原爆文学」と「戦後70年」(招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 成田龍一
2. 発表標題 戦後日本における戦争の記憶
3. 学会等名 コロンビア大学「東アジアにおける記憶のポリティックス」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2015年

〔図書〕 計62件

1. 著者名 坪井秀人	4. 発行年 2018年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 274(序言 -)
3. 書名 坪井秀人編『敗戦と占領(戦後日本を読みかえる1)』	

1. 著者名 坪井秀人	4. 発行年 2018年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 197(序言 -)
3. 書名 坪井秀人編『運動の時代(戦後日本を読みかえる2)』	

1. 著者名 坪井秀人	4. 発行年 2019年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 220 (序言 -)
3. 書名 坪井秀人編 『高度経済成長の時代 (戦後日本を読みかえる 3) 』	

1. 著者名 坪井秀人	4. 発行年 2019年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 294 (序言 -)
3. 書名 坪井秀人編 『ジェンダーと生政治 (戦後日本を読みかえる 4) 』	

1. 著者名 坪井秀人	4. 発行年 2018年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 262 (序言 -ⅻ))
3. 書名 坪井秀人編 『東アジアの中の戦後日本 (戦後日本を読みかえる 5) 』	

1. 著者名 坪井秀人	4. 発行年 2018年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 254 (序言 - 、133-163)
3. 書名 坪井秀人編 『バブルと失われた20年 (戦後日本を読みかえる 6) 』	

1. 著者名 坪井秀人 / シュテフィ・リヒター / マーティン・ロート	4. 発行年 2019年
2. 出版社 新曜社	5. 総ページ数 338
3. 書名 世界のなかの ポスト3.11	

1. 著者名 島村輝	4. 発行年 2018年
2. 出版社 松柏社	5. 総ページ数 197 (3-16, 97-109)
3. 書名 少しだけ「政治」を考えよう！ 若者が変える社会	

1. 著者名 島村輝	4. 発行年 2018年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 320 (208-226, 228-269)
3. 書名 アジアの戦争と記憶 二〇世紀の歴史と文学	

1. 著者名 黒川みどり	4. 発行年 2018年
2. 出版社 解放出版社	5. 総ページ数 435 (71-86)
3. 書名 部落解放論の最前線 多角的な視点からの展開	

1. 著者名 成田龍一	4. 発行年 2018年
2. 出版社 左右社	5. 総ページ数 344 (240-252)
3. 書名 高校生と考える希望のための教科書 桐光学園大学訪問授業	

1. 著者名 成田龍一	4. 発行年 2019年
2. 出版社 ハーベスト社	5. 総ページ数 196
3. 書名 嶽本あゆ美戯曲集「太平洋食堂」:太平洋食堂/彼の僧の娘 高代覚書	

1. 著者名 成田龍一	4. 発行年 2019年
2. 出版社 集英社	5. 総ページ数 494
3. 書名 近現代日本史との対話 【幕末・維新 戦前編】	

1. 著者名 成田龍一	4. 発行年 2019年
2. 出版社 集英社	5. 総ページ数 558
3. 書名 近現代日本史との対話 【戦中・戦後 現在編】	

1. 著者名 成田龍一	4. 発行年 2018年
2. 出版社 信濃毎日新聞社	5. 総ページ数 184-208
3. 書名 明治維新の残響	

1. 著者名 高榮蘭	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Lexington Books	5. 総ページ数 194(43-59)
3. 書名 Literature Among the Ruins, 1945-1955: Postwar Japanese Literary Criticism (New Studies in Modern Japan)	

1. 著者名 高榮蘭	4. 発行年 2018年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 320(70-86)
3. 書名 アジアの戦争と記憶	

1. 著者名 光田 剛編・丸川哲史	4. 発行年 2017年
2. 出版社 筑摩書房	5. 総ページ数 384
3. 書名 現代中国入門	

1. 著者名 島村輝監修	4. 発行年 2017年
2. 出版社 ゆまに書房	5. 総ページ数 360
3. 書名 復刻「談奇党」「獵奇資料」第1巻	

1. 著者名 島村輝監修	4. 発行年 2017年
2. 出版社 ゆまに書房	5. 総ページ数 384
3. 書名 『談奇党』『獵奇資料』第2巻	

1. 著者名 島村輝監修	4. 発行年 2017年
2. 出版社 ゆまに書房	5. 総ページ数 454
3. 書名 『談奇党』『獵奇資料』第3巻	

1. 著者名 島村輝監修	4. 発行年 2017年
2. 出版社 ゆまに書房	5. 総ページ数 260
3. 書名 『談奇党』『獵奇資料』第4巻	

1. 著者名 竹内栄美子	4. 発行年 2017年
2. 出版社 翰林書房	5. 総ページ数 829
3. 書名 漱石辞典	

1. 著者名 竹内栄美子	4. 発行年 2017年
2. 出版社 ゆまに書房	5. 総ページ数 693
3. 書名 大衆とサークル誌（コレクション戦後詩誌第9巻）	

1. 著者名 高榮蘭、権赫泰・他編	4. 発行年 2017年
2. 出版社 ハンウルアカデミー	5. 総ページ数 331
3. 書名 二度目の「戦後」1960～1970年代アジアに遭遇した日本（韓国語）	

1. 著者名 高榮蘭、川口隆行編	4. 発行年 2017年
2. 出版社 原爆 を読む文化事典	5. 総ページ数 388
3. 書名 青弓社	

1. 著者名 高榮蘭、慶熙大学校日本学論集刊行委員会編	4. 発行年 2017年
2. 出版社 J&C	5. 総ページ数 599
3. 書名 談論と表現の日本学（韓国語）	

1. 著者名 赤澤史朗・北河賢三・黒川みどり・戸邊秀明編著	4. 発行年 2017年
2. 出版社 日本経済評論社	5. 総ページ数 260
3. 書名 触発する歴史学 鹿野思想史と向きあう	

1. 著者名 黒川みどり・山田智編著	4. 発行年 2018年
2. 出版社 有志舎	5. 総ページ数 316
3. 書名 竹内好とその時代 歴史学からの対話	

1. 著者名 成田龍、上野千鶴子・蘭信三・平井和子編	4. 発行年 2018年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 384
3. 書名 戦争と性暴力の比較史へ向けて	

1. 著者名 林和文学研究会（渡辺直紀）	4. 発行年 2016年
2. 出版社 ソミョン出版（韓国・ソウル）	5. 総ページ数 278(255-278)
3. 書名 『林和文学研究 5』	

1. 著者名 渡辺直紀	4. 発行年 2016年
2. 出版社 東国大学校（韓国）博士論文	5. 総ページ数 295
3. 書名 『林和文学論研究』	

1. 著者名 島村輝（監修、解題）	4. 発行年 2016年
2. 出版社 ゆまに書房	5. 総ページ数 390
3. 書名 『「文藝市場」「カーマシヤストラ」復刻』第1巻	

1. 著者名 島村輝（監修、解題）	4. 発行年 2016年
2. 出版社 ゆまに書房	5. 総ページ数 528
3. 書名 『「文藝市場」「カーマシヤストラ」復刻』第2巻	

1. 著者名 島村輝（監修、解題）	4. 発行年 2016年
2. 出版社 ゆまに書房	5. 総ページ数 424
3. 書名 『「文藝市場」「カーマシヤストラ」復刻』第3巻	

1. 著者名 島村輝（監修、解題）	4. 発行年 2016年
2. 出版社 ゆまに書房	5. 総ページ数 416
3. 書名 『「文藝市場」「カーマシヤストラ」復刻』第4巻	

1. 著者名 島村輝（監修、解題）	4. 発行年 2016年
2. 出版社 ゆまに書房	5. 総ページ数 244
3. 書名 『「文藝市場」「カーマシヤストラ」復刻』第5巻	

1. 著者名 日本社会文学会編（島村輝）	4. 発行年 2016年
2. 出版社 菁柿堂	5. 総ページ数 335（81-100）
3. 書名 『社会文学の三〇年 バブル経済 冷戦崩壊 3・11』	

1. 著者名 竹内瑞穂 + 「メタモ研究会」編（島村輝）	4. 発行年 2016年
2. 出版社 六花出版	5. 総ページ数 224 (121-137)
3. 書名 『 変態 二十面相 もうひとつの近代日本精神史』	

1. 著者名 Suzuki Katsuo (Pedro Erber, Cornell University)との共著)	4. 発行年 2016年
2. 出版社 The Japan Foundation	5. 総ページ数 122 (83-94)
3. 書名 The Emergence of The Contemporary: Avant-Garde Art in Japan, 1950-197	

1. 著者名 黒川みどり・寺木伸明	4. 発行年 2016年
2. 出版社 解放出版社	5. 総ページ数 295(133-295)
3. 書名 入門被差別部落の歴史	

1. 著者名 坪井秀人、宗像和重	4. 発行年 2016年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 477(405-463)
3. 書名 山田美妙全集第八巻「韻文・戯曲」	

1. 著者名 竹内瑞穂、坪井秀人、橋本明ほか13名	4. 発行年 2016年
2. 出版社 六花出版	5. 総ページ数 215(171-185、190-192)
3. 書名 変態 二十面相 もう一つの近代日本精神史	

1. 著者名 五味淵典嗣、日高佳紀、坪井秀人、千葉俊二ほか	4. 発行年 2016年
2. 出版社 翰林書房	5. 総ページ数 355(236-241)
3. 書名 谷崎潤一郎読本	

1. 著者名 宇野田尚哉、川口隆行、坂口博、鳥羽耕史、中谷いずみ、道場親信、坪井秀人ほか	4. 発行年 2016年
2. 出版社 影書房	5. 総ページ数 366(294-332)
3. 書名 「サークルの時代」を読む：戦後文化運動研究への招待	

1. 著者名 日本社会文学会編（竹内栄美子）	4. 発行年 2016年
2. 出版社 菫柿堂	5. 総ページ数 335(11-52)
3. 書名 社会文学の三〇年-バブル経済 冷戦崩壊 3・11	

1. 著者名 郭南燕・白石恵理編（竹内栄美子）	4. 発行年 2016年
2. 出版社 国際日本文化研究センター	5. 総ページ数 248(55-70)
3. 書名 世界の日本研究2015-「日本研究」を通じて人文科学を考える	

1. 著者名 高榮蘭・李恵京・Vladimir Tikhonov・林慶花・黄載文編	4. 発行年 2016年
2. 出版社 ソウル大学出版文化院（韓国語）	5. 総ページ数 347(65-91)
3. 書名 1905年ロシア革命と東アジア三国の反応	

1. 著者名 渡辺直紀（李相雨ほか著）	4. 発行年 2015年
2. 出版社 ソミョン出版（韓国・ソウル）	5. 総ページ数 618
3. 書名 戦争と劇場 戦争からみた東アジア近代劇場の文化政治学	

1. 著者名 渡辺直紀（宮下志朗・小野正嗣編）	4. 発行年 2016年
2. 出版社 放送大学振興協会	5. 総ページ数 285
3. 書名 世界文学への招待	

1. 著者名 丸川哲史	4. 発行年 2015年
2. 出版社 法律文化社	5. 総ページ数 234
3. 書名 中国ナショナリズム もう一つの近代を読む	

1. 著者名 丸川哲史	4. 発行年 2015年
2. 出版社 せりか書房	5. 総ページ数 394
3. 書名 阿Qの連帯は可能か? 来たるべき東アジアのために	

1. 著者名 高榮蘭（共編著：紅野謙介・高榮蘭・鄭根埴・韓基亨・李惠鈴編）	4. 発行年 2016年
2. 出版社 ブルン歴史社	5. 総ページ数 648
3. 書名 検閲の帝国 文化の統制と再生産	

1. 著者名 高榮蘭（三浦信孝編）	4. 発行年 2016年
2. 出版社 風行社	5. 総ページ数 359
3. 書名 戦後思想の光と影 日仏会館・戦後70年記念シンポジウムの記録	

1. 著者名 竹内栄美子	4. 発行年 2015年
2. 出版社 論創社	5. 総ページ数 400
3. 書名 中野重治と戦後文化運動 デモクラシーのために	

1. 著者名 黒川みどり	4. 発行年 2016年
2. 出版社 有志舎	5. 総ページ数 272
3. 書名 創られた「人種」 部落差別と人種主義	

1. 著者名 成田龍一	4. 発行年 2015年
2. 出版社 講談社	5. 総ページ数 458
3. 書名 加藤周一を記憶する	

1. 著者名 成田龍一	4. 発行年 2015年
2. 出版社 河出書房新社	5. 総ページ数 235
3. 書名 戦後史入門	

1. 著者名 成田龍一（小森陽一、成田龍一、本田由紀）	4. 発行年 2015年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 277
3. 書名 岩波新書で「戦後」を読む	

1. 著者名 成田龍一（三浦信孝編）	4. 発行年 2016年
2. 出版社 風行社	5. 総ページ数 359
3. 書名 戦後思想の光と影	

1. 著者名 成田龍一	4. 発行年 2016年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 352
3. 書名 『岩波講座 日本歴史 歴史学の現在』第22巻	

1. 著者名 成田龍一（成田龍一・吉田裕編）	4. 発行年 2015年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 272
3. 書名 記憶と認識の中のアジア・太平洋戦争	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	竹内 栄美子 (TAKEUCHI Emiko) (00236415)	明治大学・文学部・専任教授 (32682)	
研究分担者	鈴木 勝雄 (SUZUKI Katsuo) (30321558)	独立行政法人国立美術館東京国立近代美術館・企画課・主任 研究員 (82621)	
研究分担者	高 榮蘭 (KO Young-ran) (30579107)	日本大学・文理学部・教授 (32665)	
研究分担者	丸川 哲史 (MARUKAWA Tetsushi) (50337903)	明治大学・政治経済学部・専任教授 (32682)	
研究分担者	黒川 みどり (KUROKAWA Midori) (60283321)	静岡大学・教育学部・教授 (13801)	
研究分担者	坪井 秀人 (TSUBOI Hideto) (90197757)	国際日本文化研究センター・研究部・教授 (64302)	
研究分担者	島村 輝 (SHIMAMURA Teru) (90216078)	フェリス学院大学・文学部・教授 (32711)	
研究分担者	戸邊 秀明 (TOBE Hideaki) (90366998)	東京経済大学・経済学部・准教授 (32649)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	渡辺 直紀 (WATANABE Naoki) (80409367)	武蔵大学・人文学部・教授 (32677)	
研究分担者	東 由美子 (HIGASHI Yumiko) (00307985)	国際ファッション専門職大学・ファッションビジネス学科・教授 (32828)	